

てんさんぽ ◎ その66 てんてん 系川 貂々



阪急宝塚駅の南側にある宝来橋を渡ったところに、コンクリートで固められた台の広場があり、池と水が滝のように注がれているモニュメントがあります。ここが湯本台広場で、もともと大きな旅館の跡地を利用して作られました。公園になっている広場から、さらに階段で上がって行く見晴らし台のような場所には四等三角点^{てんてん}が設置されています。この広場は、秋の「六甲全山縦走」のゴール地点としても利用されています。このあたりが温泉地だった頃の名残となる、数少ない場所の一つです。

宝塚市大使 やすみりえの「川柳日和り」

本誌6月号で「学ぶ」をお題に川柳を募集。応募総数99句の中から川柳作家のやすみりえ先生が選んだ秀作を紹介します。

天

線引いた
教科書賢そうに居る

七夕ぜん哉 様

講評

教科書を擬人化していて面白いですね。作句法として上手に取り入れています。赤や青の線や、マーカーの色などが浮かんできました。

地

今さらじゃない
今からよ
ノート買う

大昇たみこ 様

講評

学びへの前向きさが前面に感じられる一句。何か良いきっかけを得たのでしょうか。新しいノートの最初のページの白さが想像できます。

人

優しさを
学び細胞
若がえる

室伏尚美 様

講評

人との出会いや、関わりによって学ぶことのできた「優しさ」。心もいきいきとする感覚を「細胞若がえる」と端的に表現しています。

佳作

学び舎の柱に名前書き連ね

なぎさ 様

女の子スマホで学ぶ化粧法

宮脇清文 様

今日は何孫から学ぶトレンドイ

高福誠 様

向学心やっとなり芽生えた還暦後

つきお 様

やすみ先生の一句

転び方すこうし上手くなりました

大小さまざまな失敗を重ねながら今日まで歩んできましたが……。その失敗から学ぶこともたくさんでした(笑)。というわけで、人生の「学ぶ」を詠みました。



総評

今回は身の回りの出来事を上手に詠み込み、きちんとまとめ上げた作品が多かったです。スマホや AI についての内容も多く、「あるある!」と共感できるものもたくさんありました。入選には言葉選びや切り口が印象的なものが並んだ印象です。

お題 「バランス」

対 市内在住・在勤・在学の人

申 10月15日(水)までに、

はがきに、〒住所・名前・電話番号とお題をもとにした川柳(未発表作品のみ、3句まで)、作品について一言を書いて、〒665-8665(住所不要)市役所広報課「川柳」係へ。二次元コードから申し込み可。入選者にはプレゼントあり

問 広報課(☎77・2002 FAX74・6903)

